



れんごう ふくおか

No. **331**

RENGO FUKUOKA

2018年3月26日発行
発行：日本労働組合総連合会福岡県連合会
発行人：西村芳樹 編集人：上野茂伸
〒812-0025 福岡市博多区屋町6番5号小松ビル
TEL.092-283-5529 FAX.092-283-5611
連合福岡のホームページ
<http://www.rengo-fukuoka.jp/>
連合福岡のメールアドレス
info@fukuoka.jtuc-rengo.jp

2018春季生活闘争勝利・ 総決起集会を開催！

2018春季生活闘争勝利・総決起集会ならびに社会的アピール行動を3月10日(土)に開催しました。暖かな春の日差しを受けた天神中央公園に、2,650人の組合員が集い、2018春季生活闘争勝利に向けて意思統一を図ることができました。集会では、参加者の奮闘を求める西村会長の挨拶につづき、基幹労連野中事務局とセラミック連合相良書記長より、今次春闘の取り組み状況などの報告があり「底上げ・底支え」「格差是正に向けて全力で闘う」とした決意が述べられました。また、渡邊青年委員長の力強い集会決議が採択され、会場の力強い団結ガンバロウで集会を終えることができました。集会後は、中央公園から天神を通るルートでデモ行進を行い、『すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう！』『「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノソコアゲ！』と訴えました。



ついでと 告意～問

春到来。これまで過ごしてきた生活環境から一線を画し、未知の世界へのチャレンジが始まる季節。期待と不安を抱きながら新生活を始める新人諸君にエールを送りたい。我が家でも息子が社会人一年生として巣立っていった。喜びと共に寂しさも感じる昨今であるが、日本の将来を背負う一員として社会に貢献して貰いたいと願っている。かくいう私も昨年10月から連合福岡の新人専従役員として、まさに“次の飛躍へ確か

な一歩”を踏み出したわけだが、多くの方々に支えられ5ヶ月が経過した。変化が激しく難題山積の昨今、我流であるが産別役員時代から大切にしてきた「組合活動の心構えABC（アクション・バランス・コミュニケーション）」に立ち返り、職責を果たすとともに、活動を通じて得られた新たな発見や気づきを活かしながら働くことを軸とする安心社会の構築に向けてベストを尽くしていきたいと考えている。（NY）

常識（賃金は上がる）を取り戻し

2018春季生活闘争 これからが本番！

クラシノソコアゲの実現へ

3月14日、2018春季生活闘争における最初のヤマ場を迎えました。

今次闘争では、月例賃金の引き上げにこだわり、「底上げ・底支え」「格差是正」につながる賃上げの流れを継続させることを主張しています。

経営側は、個人消費の活性化を通じた経済の自律的成長に向けた社会的な要請や期待については一定程度の理解を示しつつも、経済や事業の先行き不透明感、過去4年間の賃上げによる賃金水準の上昇などを理由に、賃上げに対しては極めて慎重な判断が必要との厳しい態度を示し交渉は難航しました。

しかし組合は、企業・産業の存続と成長のためには同じ職場で働くすべての「人への投資」が必要と粘り強く交渉を行いました。



結果、3月16日現在、継続して賃上げの回答を引き出しています。回答水準についても、昨年水準を上回る基調にあり、交渉継続中の組合にエールを送り、また追い風となる成果となっています。

すべての働く者の処遇の「底上げ・底支え」「格差是正」を実現するためには、現在までに示された回答内容を、続く中堅・中小組合はもとより、未組織を含めたすべての働く者の賃金引き上げに確実に波及させなければなりません。そのためには、先行する組合が引き出した回答内容を賃上げのうねりとしてあまねく波及させるために、交渉中の組合は3月決着に向けて全力を尽くし、非正規労働者の雇用の安定と処遇改善に向けて、正規・非正規の同時決着をめざすことが重要です。また、恒常的な長時間労働の是正や職場全体の生産性向上につながる働き方の見直しについても、積極的かつ前向きな回答を引出す必要があります。

連合福岡は今後も構成組織・地域協議会と連携をとりながら、中小・地場組合の交渉を支援し、回答内容などの情報共有をタイムリーに行うとともに、地場における賃金相場の底上げを波及させるため、効果的なアピールや情報提供を行っていきます。

経営者団体等への要請行動（2018.3.5～7）

連合福岡では毎年、春季生活闘争に向けた要請行動を経営者団体および労働局に対して実施しています。今年も6カ所に要請書を手渡し、人手不足による人材確保や後継者問題などに関して意見交換を行いました。


| 要請内容 | 要請先及び要請の様子 |
|---|--|
| ①中小・地場企業を支える労働者の賃金水準の引上げ ②非正規労働者の労働条件改善 ③すべての労働者の立場にたった「働き方」の見直し ④男女平等の推進 | 福岡県中小企業団体中央会、福岡労働局 福岡県中小企業家同友会、福岡県経営者協会 福岡県商工会連合会、福岡県商工会議所連合会 |
| 意見交換内容 |   |
| <ul style="list-style-type: none"> ●人材手不足による後継者問題・人材確保・労働生産性・外国人労働者等について ●賃金の引上げ及び公正取引の実現について ●中小企業の業績について ●働き方改革(裁量労働制他)について 等 | |






地域活性化フォーラムin久留米 (2018.2.24)

2月24日(土)、久留米ビジネスプラザにおいて、地域活性化フォーラムin久留米を開催しました。地域活性化フォーラムとは、2015春季生活闘争より開かれた春闘の必要性や地場産業の活性化と働く者の処遇改善を一層進めるため社会対話を含めた運動として開催しています。

連合福岡では、2016年に福岡市で初開催した後、2017年以降は、県内の発展には企業の99.8%を占め、約8割の雇用を担う中小企業の活性化が不可欠であるという認識のもと、「労働組合・経営者・行政」が地域の発展について対話をする必要性にたち、各地域協議会と連携し各地でフォーラムを開催しています。

今回のフォーラムには、地域の構成組織組員・議員懇談会・行政や関係諸団体など117名の参加により、基調講演とパネルディスカッションの2部構成で開催しました。参加者の皆さまは地域を真剣に想うパネラーの意見に頷くなど、会場は終始「地元愛」に溢れた雰囲気でした。

| | |
|--|---|
| 基調講演 |  |
| <p>講師：福岡県企画・地域振興部総合政策課長 田代 祐靖 氏 テーマ：福岡県総合計画の概要について</p> | |
| 内 容 | |
| <p>県民幸福度日本一を目指す福岡県としては、県民が「元気・温かみ・安定」を感じられる施策の推進が必要であることや、平成30年度福岡県予算における「地域経済の活性化と魅力ある雇用の創出」等についての説明をいただきました。</p> | |

| | | | | |
|--|--|--|---|---|
| <h2 style="margin: 0;">パネルディスカッション</h2> <p style="text-align: center; margin: 0;">テーマ：「雇用創出を核とする地域活性化について」</p> | | | | |
| 内 容 | | | | |
| <p>コーディネーターから筑後地域の特徴が説明された後、それぞれパネリストが所属する組織の取り組みについての紹介をいただきました。また地域の未来に向けた現状の課題とその解決策に関する質問には、熱い回答・考えが返ってきました。置かれた立場は違えども、それぞれに深い「地元愛」を感じられる議論でした。</p> | | | | |
| コーディネーター | パネリスト | | | |
|  <p style="font-size: small;">連合福岡 組織・労働条件局長 山口 朋宏 氏</p> |  <p style="font-size: small;">久留米商工会議所 事務局長兼総務部長 宮本 則昭 氏</p> |  <p style="font-size: small;">久留米公共職業安定所 所長 佐伯 健 氏</p> |  <p style="font-size: small;">久留米市議会議員 古賀 敏久 氏</p> |  <p style="font-size: small;">連合福岡 北筑後 地域協議会議長 鹿田 哲 氏</p> |
| 質 問 | パネリストの回答 | | | |
| <p>Q. 筑後地域を地域活性化させるために一番大切なキーワードは？</p> | <p>広域連携 (強みを活かした)</p> | <p>雇用の 多様性の追求</p> | <p>賃金</p> | <p>底上げ</p> |
| <p>Q. 筑後地域の雇用を創出・定着するため、最も大切なことは？</p> | <p>学校と企業の パイプ (連携)</p> | <p>働く人の 満足度の追求</p> | <p>契約 (公契約条例)</p> | <p>連帯</p> |

